

2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年8月12日

上場会社名 松尾電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6969 URL <https://www.ncc-matsuo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 常俊 清治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員総務経理部門長 (氏名) 網谷 嘉寛

TEL 06-6332-0871

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	839	12.9	40	414.9	35	45.7	21	—
2020年3月期第1四半期	964	—	7	—	24	—	6	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	8.22	—
2020年3月期第1四半期	2.35	—

(注) 当社は、2019年3月期第1四半期は連結財務諸表を作成していたため、2020年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,333	1,543	28.9
2020年3月期	5,532	1,564	28.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 1,543百万円 2020年3月期 1,564百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

業績予想につきましては、現段階で合理的な業績予想の算定を行うことが困難なことから未定とし、記載しておりません。今後、合理的な予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	2,572,000 株	2020年3月期	2,572,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	2,004 株	2020年3月期	1,968 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	2,570,002 株	2020年3月期1Q	2,570,241 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
3. その他	6
継続企業の前提に関する重要事象等	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間のエレクトロニクス業界の状況は、世界各国の新型コロナウイルス感染症対策に伴う経済活動の停滞等により需要が縮小しました。この影響により、自動車の世界生産も大幅に減少しました。

このような環境のもとで、当社の売上高につきましては、販売重点製品である回路保護素子が増加したものの、カーエレクトロニクス向けのタンタルコンデンサが大幅に減少しました。

その結果、当第1四半期累計期間の当社の業績は、売上高につきましては、839百万円（前年同四半期比12.9%減少）となりましたが、損益につきましては、当事業年度の経営計画である採算重視の営業活動の実施、島根工場の回路保護素子生産設備の福知山工場への移転及び一般管理費の固定経費削減が計画どおり進捗し、営業利益40百万円（前年同四半期比414.9%増加）となり、為替差益3百万円及び支払利息9百万円の計上により、経常利益35百万円（前年同四半期比45.7%増加）となりました。

また、特別損失として、コンデンサ製品の取引に関するブラジル当局との和解金及び集団訴訟等の対応のための弁護士報酬等に伴う独占禁止法等関連損失43百万円及び島根工場の回路保護素子生産設備の福知山工場への移転に伴う事業拠点再構築費用10百万円を計上した結果、四半期純損失21百万円（前年同四半期比15百万円悪化）となりました。

なお、当社は、東京証券取引所の定める時価総額基準に基づく上場廃止基準に定める所要額（上場維持のためには月間平均時価総額及び月末時価総額が10億円以上必要）に抵触し、2021年6月末日までが上場廃止猶予期間となっています。また、今般、2020年7月に、東京証券取引所から、2020年3月31日時点で、「流通株式時価総額」に係る上場廃止基準に定める所要額（上場維持のためには流通株式時価総額が5億円以上必要）に抵触し、2021年3月末日までが上場廃止猶予期間となる旨の通知がありました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

① タンタルコンデンサ事業

タンタルコンデンサ事業につきましては、カーエレクトロニクス向けのタンタルコンデンサの需要が大幅に減少しました。この結果、タンタルコンデンサ事業の売上高は、587百万円（前年同四半期比22.3%減少）、セグメント利益は、56百万円（前年同四半期比15.0%減少）となりました。

② 回路保護素子事業

回路保護素子事業につきましては、新規案件に伴う売上高が増加しました。この結果、回路保護素子事業の売上高は、201百万円（前年同四半期比16.9%増加）、セグメント利益は、57百万円（前年同四半期比32.2%増加）となりました。

③ その他

その他の売上高は、50百万円（前年同四半期比41.8%増加）、セグメント利益は5百万円（前年同四半期比5百万円改善）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、主に売上債権の減少等により5,333百万円（前事業年度末比198百万円減）となりました。

負債は、主に短期借入金の減少等により3,790百万円（前事業年度末比177百万円減）となりました。

純資産は、主に四半期純損失の計上等により1,543百万円（前事業年度末比21百万円減）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症が、事業活動及び経営成績に与える影響により、業績予想の適正かつ合理的な算定が困難であることから、今回の業績予想を開示しておりません。なお、今後適正かつ合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,215,985	1,131,211
受取手形及び売掛金	775,916	603,457
電子記録債権	310,977	401,699
製品	739,857	810,916
仕掛品	422,888	357,299
原材料及び貯蔵品	270,676	273,271
その他	108,220	17,151
貸倒引当金	△1,176	△1,005
流動資産合計	3,843,347	3,594,002
固定資産		
有形固定資産	1,421,235	1,460,214
土地	691,322	691,322
その他	18,105,443	18,153,504
減価償却累計額及び減損損失累計額	△17,375,530	△17,384,612
その他（純額）	729,913	768,892
無形固定資産	230,746	242,058
投資その他の資産	37,092	37,543
投資有価証券	15,000	15,000
その他	22,095	22,546
貸倒引当金	△2	△3
固定資産合計	1,689,074	1,739,816
資産合計	5,532,421	5,333,819

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	341,565	352,935
短期借入金	1,755,000	1,525,000
1年内返済予定の長期借入金	59,331	83,754
未払法人税等	15,880	7,887
設備関係支払手形	13,424	56,420
その他	728,630	652,169
流動負債合計	2,913,831	2,678,166
固定負債		
長期借入金	289,325	364,498
繰延税金負債	99,829	99,829
環境対策引当金	8,535	8,535
退職給付引当金	512,325	498,516
資産除去債務	7,900	7,908
その他	136,237	133,061
固定負債合計	1,054,153	1,112,348
負債合計	3,967,984	3,790,515
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,219,588	2,219,588
資本剰余金	302,662	302,662
利益剰余金	△956,052	△977,178
自己株式	△1,761	△1,769
株主資本合計	1,564,437	1,543,303
純資産合計	1,564,437	1,543,303
負債純資産合計	5,532,421	5,333,819

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	964,269	839,463
売上原価	735,559	628,886
売上総利益	228,710	210,577
販売費及び一般管理費	220,858	170,147
営業利益	7,851	40,429
営業外収益		
受取利息	27	14
受取配当金	500	500
為替差益	21,107	3,360
貸倒引当金戻入額	88	170
その他	1,828	460
営業外収益合計	23,551	4,506
営業外費用		
支払利息	4,619	9,025
支払手数料	2,160	-
その他	107	196
営業外費用合計	6,887	9,221
経常利益	24,516	35,713
特別損失		
固定資産除却損	0	41
独占禁止法等関連損失	28,342	43,796
事業拠点再構築費用	-	10,800
特別損失合計	28,342	54,638
税引前四半期純損失(△)	△3,826	△18,924
法人税、住民税及び事業税	2,201	2,201
法人税等調整額	-	-
法人税等合計	2,201	2,201
四半期純損失(△)	△6,028	△21,126

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度に続き、当四半期以降においても独占禁止法等に関連する支払の発生が見込まれます。また、当事業年度は、新型コロナウイルス感染症が事業活動に影響を与えるものと見込まれます。

このような状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象等が存在しておりますが、当社は、当該重要事象等を改善するため、当事業年度の経営計画において、下記の事項を経営戦略目標とし、業績の回復を図る方策を講じるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響に備えるため、より一層の資金調達に努めることから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しています。

- ① 売上高の回復としてセグメント別の売上高目標の達成及び海外市場への拡販
- ② 原価低減として島根工場の回路保護素子生産設備の福知山工場への移転
- ③ 経費削減として一般管理費の固定経費削減
- ④ キャッシュ・フロー改善として売掛金の回収期間の短縮及びたな卸資産の削減の推進